

分野名：青少年教育

# 子どもたちの健やかな成長をめざして ～ カヌー体験活動を通して ～

大牟田市駿馬地区公民館【公立公民館】

館長 福浦 忠紀

## 1. 事業名

カヌーふれあい事業

## 2. 事業の目的

①自然を愛する心や郷土愛の醸成②家族のふれあいや世代間交流の促進③自然体験学習による青少年の健全育成④環境問題の啓発を目的としている。

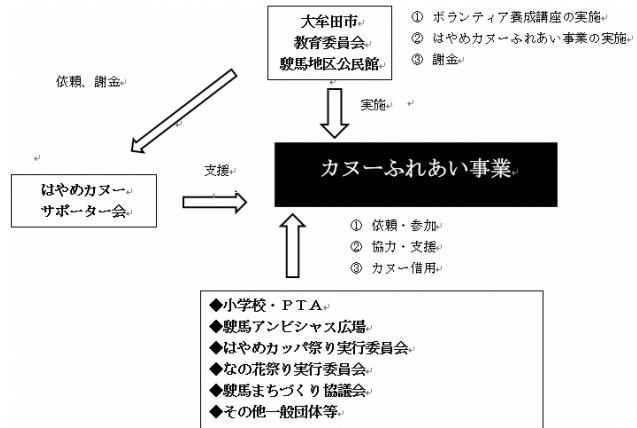
## 3. 事業の主体

カヌーに関連する事業については、大牟田市（駿馬地区公民館）の主催として、「はやめカヌーサポーター会」や地域団体などの協力を得て実施している。

具体的には、誰でもカヌーに乗れる「ふれあいカヌーデー」を地域団体やアンビシャス広場等との共催で実施するとともに、学校ESD事業として小学校が実施する「カヌー教室」では、関係団体や「はやめカヌーサポーター会」等との調整を行うなど、その運営を支援している。

また、地域団体等と協働で、自然を愛する心の醸成を目的とした諏訪川河川清掃や精霊流しの後片付け等の活動を実施している。

なお、事業を円滑に実施するため、「カヌーサポーター（ボランティア）養成講座」を実施することで、「はやめカヌーサポーター会」を支援している。



## 4. 連携・協力機関・団体等

大牟田市（生涯学習課地域学習担当、7地区公民館）、はやめカヌーサポーター会、小学校（PTA含む）、駿馬アンビシャス広場、はやめカップ祭り実行委員会、なの花祭り実行委員会、駿馬まちづくり協議会

## 5. 事業予算

令和3年度 50,000円（消耗品10,000円、謝礼金40,000円）

## 6. 実施に至る経緯

カヌーを通してスポーツを楽しみ、川に親しみ、多くの市民が交流し、地域興しをしていく多目的な事業として2年間をかけ計画し、平成10年度の前算化を経て、7地区公民館の合同事業として開催してきた。令和2年度より駿馬地区公民館の単独事業として、現在に至っている。

また、運営に携わる事業のサポーター（ボランティア）を独自に養成していたものの、令和2年度からは、受講したボランティアが「はやめカヌーサポーター会」を立ち上げたことから、協力・連携した対応としている。

## 7. プログラム作成の視点

カヌーふれあい事業は、地域団体等と協力して、自然体験や世代間交流をとおして、子ども達の健やかな成長を願い実施するもの。

## 8. 事業の内容

カヌーは市民協働部生涯学習課が所有しており、諏訪川のほとりに位置する駿馬地区公民館に、1人乗り16艇、2人乗り11艇のカヌーを保管して運用している。令和2年度の実施状況は次のとおりである。なお、乗船体験については、陸上監視（陸上からの見守り）を参加団体が、乗船補助及び水上監視（カヌーに乗ってからの監視）を「はやめカヌーサポーター会」が担っている。

### (1) 学校支援事業

平成28年に大牟田市教育委員会と東京大学海洋アライアンス海洋教育促進センターとの海洋教育促進拠点としての連携に関する協定のもと、駿馬小学校と天領小学校が、大牟田市海洋教育促進モデル校として取り組まれ、駿馬小学校3、4年生及び天領小学校4年生のカヌー体験教室が実施されている。

乗船体験は、「はやめカヌーサポーター会」の支援のもと、クラスごとに乗船し、乗船しない時間は、地域ボランティア団体「はやめにここに会」による『諏訪川生き物学習』や地域歴史研究団体「はやめ郷土の会」による『はやめ郷土学習』、読み聞かせ団体「ゆめふうせん」による駿馬の民話等の『読み聞かせ』等を実施している。

### (2) 地域団体連携事業（地域事業等との連携）

#### ① 駿馬アンビシャス広場との連携

子どもの居場所として活動されている駿馬アンビシャス広場と連携し、令和2年度は7月に乗船体験を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となったことから、駿馬地区公民館主催事業である11月の「ふれあい！GoToカヌーデー2020」と共催で実施した。

#### ② 駿馬社会福祉協議会との連携

駿馬校区社会福祉協議会主催の諏訪川浄化活動として、カヌーで川の中のゴミ拾い活動を実施した。

#### ③ 駿馬まちづくり協議会との連携

8月16日に精霊流しで川に散乱している供え物をカヌーで回収した。

#### ④ なの花まつり実行員会と連携

例年であれば3月に、諏訪川堤防沿いに咲かせた菜の花を楽しむための「なの花まつり」に合わせて乗船体験を実施していたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により中止した。

### (3) 駿馬地区公民館主催事業

#### ① カヌーサポーター養成講座

初歩的な知識・技術を習得しカヌーの楽しさを体感するとともに、カヌーサポーターとして技術的な活動へ結びつけるきっかけをつくることに重点を置き、まずは事業への参加や協力してもらう人材の確保に努める。また、講座終了後には、はやめカヌーサポーター会に入会してもらうことを目標に事業を实

施している。

#### ②ふれあい！G o T oカヌーデー2020

多くの市民が諏訪川でカヌーの乗船体験をすることで自然を愛する心を育むとともに、家族、友人等とのふれあいを深めることとしている。また、環境について考えてもらうきっかけとなるように実施している。

当日は、先着100名程度とし、1人乗り、2人乗りに分かれて、1クール30人弱×4クールで、約100名が1クール30分程度の乗船を体験した。

令和2年度は駿馬アンビシャス広場との連携であり、陸上監視は駿馬アンビシャス広場が、駐車場整理等は駿馬地区公民館職員が担当した。

#### (4) カヌー貸出事業

市民等の社会教育活動を支援するため、希望する団体等に対し、市民協働部生涯学習課（駿馬地区公民館）が所有するカヌー及び附属器具を貸し出している。

なお、貸し出しについては、カヌー指導者又はカヌーサポーター登録者（はやめカヌーサポーター会）の指導又は管理の下で、地区公民館の事業及び管理運営に支障のない範囲で実施している。

令和2年度は、「おおむた環境ネットワーク」から依頼があっていたが、新型コロナウイルス感染防止及び天候不良により中止した。

### 9. 事業の成果

- 住みやすく活気のある市民社会の形成とさわやかな都市イメージの創出
- 環境保全、環境美化へ向けての市民意識の高揚
- 郷土と自然を愛する人間性豊かでたくましい青少年の育成
- 地域住民、各種地域団体間の交流促進と地域づくりへ向けての意識の共有化
- 水辺のアウトドアスポーツ・レクリエーションの振興

### 10. 今後の課題

- イベントなどにおいて、カヌー競争の要望があるものの、現在は安全面を考慮して実施していない。今後、要望と安全の両面から実施の可能性を検討する。
- 諏訪川上流への遠出も要望されているが、安全管理上の問題から事業では実施していない。今後、乗船経験者又は中級者向けとして少人数での実施を検討する。
- 養成講座受講者であるカヌーサポーターは令和2年度で34名が在籍しているが、「はやめカヌーサポーター会」への加入は希望者となっている。今後、カヌー事業への支援団体として、会員数の増加など組織強化に向け、引き続きサポーター養成講座などの支援を図る。
- 主催する駿馬地区公民館職員も人事異動等で変更になるため、この事業の運営及び「はやめカヌーサポーター会」をはじめとした各団体との連携を保持するためにも引継ぎや職員のスキルアップは課題である。

### 11. 問合せ先

〒836 - 0086 福岡県大牟田市馬込町1-20-1

駿馬地区公民館 福浦 忠紀

TEL : 0944 - 57 - 5443 FAX : 0944 - 57 - 5444

E-mail : e-hayame-tc@city.omuta.fukuoka.jp